

医療現場：看護部

テーマ：求めやすい価格になって欲しい機器・器具

■ 背景

病院には様々な医療機器や医療機具有る。医療従事者が日々患者のケアを行う上で、便利な機器や器具が市販されているが、高価格であるため、導入できていないものも多数存在する。多くの医療機関が赤字経営であることも踏まえて、導入しやすい価格であれば利用が広がると考えられる事例を紹介する。これは医療従事者の働き方改革にもつながる。

■ 事例紹介

① ナースカート

PC、体温計、血圧計など様々な機器を載せて各病棟を回る上で必須の機器。安価なものも市販されているが、立付けが良くないためかカート台がガタついて不安定である



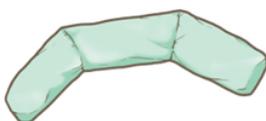
② シャンプー台

簡易型はどうしても周辺に水が飛び散ってしまうため、オムツなどで水の飛散防止を図っている。美容院に設置されているシャンプーチェアが理想的であるが、とても高価なため、非現実的である。排水受けとセットが望ましい



③ 褥瘡用クッション

自身の体重による褥瘡部位の悪化予防用クッション。カバーも高価なため80℃での滅菌でも劣化しないもの。様々なサイズのクッションへ適用したい



④ 体重計

自在に体動出来ない患者の体重を測る際に吊り上げ式のものを使用しているが、台数が不十分なため順番待ちになっている。ベッドマットに敷くタイプなどがあれば良い



⑤ 圧縮できるゴミ箱

入院患者用おむつなど嵩張る廃棄物は日々大量に発生する。廃棄物スペースには限界があるため、省スペースのためには圧縮機能があるゴミ箱が望ましい



⑥ ハサミなしで綺麗に切れるテープ

ガーゼや点滴ラインなどの固定にテープは日々汎用する。紙製テープは指で切れるが、ビニール製の切断にはハサミが必須である。線状の切れ目付が望ましい



■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>